



3学期 オンライン始業式

▼19日間の冬休みが終わり、11日(火)3学期の始業式が行われました。ここ数日、山梨県を含め、全国で新型コロナウイルス感染症が急速に拡大していることから、今回は急きょオンラインで行いました。初めての試みで、音声は明瞭に伝わらなかったこともあり、学校だよりを通してお伝えします。▼私からは、次のような話をしました。

▼本日より三学期が始まります。新しい年、新しい学期を迎え、「よし、がんばるぞ」という気持ちでこの場に臨んでいることと思います。▼今年2022年の干支は寅年。正しくは「壬(みずのえ)寅(とら)」です。干支は十干と十二支の組み合わせで、甲子(きのえね)から始まり全部で60通りある中の39番目の年回りになります。▼「壬」は生まれる、「寅」は春が来て草木が生長するさまを表します。つまり「壬寅」は「生まれたものが成長する」という意味を持っているそうです。「虎は千里を走る」ともいいますが、皆さんには虎のように「優れた行動力」を発揮し、勢いのある年にして欲しいと思います。▼一方、新たに生まれ成長しては困るものが新型コロナウイルスの変異株です。ここに来て「オミクロン株」の感染者が爆発的に拡大しつつあります。学校としては引き続き万全の態勢で予防策を講じていきますが、いつ何時、生徒や教職員が感染しても不思議ではない状況にあります。▼感染したくて感染する人はいません。万が一、身近な人が感染しても、感染者が傷つくような言動は絶対にしてはいけません。差別や偏見がないようお願いいたします。▼さて、新年、新学期にあたり、校長先生が普段大切にしていることとお話します。4月の始業式には、生きる上、人と接する上で大切にしていることとして「志は高く、人には寛容であれ」、すなわち、「目標は高く、人には広い心を持って接して欲しい」という言葉を紹介しましたが、今回は仕事をする上で、何かをする上で大切にしている言葉です。▼それは「段取り八分、仕事二分」という言葉です。これは「何事も準備が大切だ」「仕事

の善し悪しや成功するか失敗するかは、段取り(準備)で決まる」と言うことです。▼皆さんは新年を迎えるにあたって、様々な目標を掲げたことと思います。是非、事前の準備をしっかりと行い、本番に臨んで欲しいと思います。▼最後に、三学期は、まとめの学期であると同時に、1年生は2年生へ、2年生は最上学年である3年生への進級、3年生は進学といった新たなステージへのスタートの学期でもあります。一日一日の積み重ねを大切にして自分らしく過ごして欲しいと思います。

▼各学年、生徒会本部の代表者からも力強い新年の抱負が述べられました。その一部を紹介します。



◆1年代表 政所花歩さん

私たち一学年は、行事等を通して大きく成長するとともに、先輩の姿を見て学び、以前より考えることができるようになりました。3学期はもうすぐ先輩になるのだという自覚を持ち、これまで以上に頑張りたいです。

◆2年代表 石原蒼空さん

2学年の課題は2つあり、学習面では勉強時間の短さ、生活面では積極性です。3学期は、3年生からバトンを受け継ぎますが、先生方や先輩方に安心して市川中を任せてもらえるように自分から行動して姿で示したいです。

◆3年代表 望月冠汰さん

もうすぐこの仲間たちと過ごすことができなくなると考えると、3学期の時間の大切さを感じます。今は、受験に向かって奮闘することが第一優先。受験は団体戦、全員で支え合い、堂々とこの学校を卒業し、合格を勝ち取りましょう。

◆生徒会代表 赤池一樹さん

陵風祭やSNS利用宣言、「学び」という「収穫」の多い生徒会活動となりました。3学期は「実る学期」であるとともに、来年度への準備期間でもある。各自が考え、行動することで、最後まで実りのある生徒会活動にしていきたいです。